

建設業で働く  
女性たち



佐知子さん  
平永 さん  
(J R 東海コンサルタンツ)

「日々の生活を縁の下で支える分野に携わりたい」と、土木の道志した。大学院で地盤工学を専攻し、修了後はJ R 東海に入社。現在はJ R 東海コンサルタンツに出向し、鉄道構造物の計画・設計に携わる。

入社時、新幹線の保守管理を担う部署に配属され、そこで見た「絶対に事故を起こさない」という強い責任感を持つ現場作業員の姿に感動した。鉄道、電気、水道などは「あつて当たり前」になってい

「女性であることが緊張感に」

(滝)

るが土木。土気の高なのは、今後の業界の人たちの日々の努力に支えられている」との思いを一層強くした。男性の多い業界、女性であることでどうしても注目を浴び続けてきた。しかし「それがいい緊張感になって成長できた」と前向き。現在は、土木学会タイパシティー推進小委員会委員や土木技術者女性の会・中部地区世話役を務めるなど、業界の女性の先頭を走り続けている。業界内の「女性の活用」という点に関しては、「女性が働きやすい環境をつくる」という議論の前に、「大切な姿勢に強い覚悟が見える」。

「親が伸びれば子どもも伸びる」ことを子育てで実感。会社でも同様、後輩と組んで仕事をすると「まずは自分が常に努力することが大切。自らの成長なくして、いいものはできない」。自分に厳しい姿勢に強い覚悟が見える。